

※イラストの指文字は相手から見た形です。

手話を覚えてみよう vol.43

やってみよう！～身近な言葉の手話～
普段使う言葉を手話でやってみましょう。

○字幕メガネ

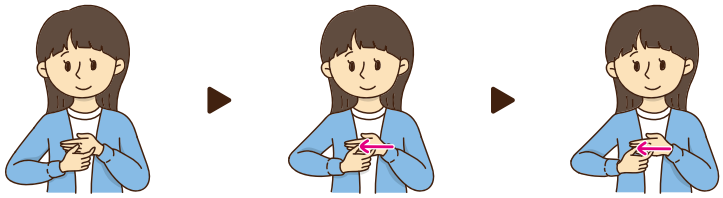
「映画館に行きたいけど、音声が聞き取りづらくて楽しめるか不安。」そんな人に知ってもらいたいのが「字幕メガネ」です。

これは、装着した人の視界（レンズ部分）にリアルタイムで文字やセリフを表示させるメガネ型の端末です。スクリーンを見る視線の手前に字幕が浮かんで見えるため、映像と文字を同時にスムーズに追うことができます。

聴覚に障がいのある人はもちろん、高齢のため少し耳が遠くなった人なども、安心して映画の世界に没頭できるのが大きな魅力です。

なお、字幕メガネの導入状況や対象作品、貸し出し方法は映画館によって異なります。事前に各映画館や映画情報ウェブサイトなどを確認してください。

字幕



指先を右に向けた左手の甲側下部に右手の親指と人差し指をつけ、右手の親指と人差し指を少し右にずらす

手話動画

過去に掲載した手話の動画は、YouTube（ユーチューブ）（市公式チャンネル）で見ることができます。

問い合わせ先　福祉支援課障がい福祉担当　☎(584)1127　F(584)1154



自治会通信 vol.31

自治会加入が暮らしの安心につながります

自治会加入申し込みはこちら

桜ヶ丘地区自治会　日高篤志（ひだかあつし）会長

桜ヶ丘地区では、独自の取り組みの1つとして夏の恒例行事の「魚とり大会」を開催しています。

今年も桜ヶ丘広場公園に手作りのプールを設置し、ヤマメ300尾を放流しました。

照りつける日差しの中でしたが、子どもたちは元気いっぱい。「逃げられた」「つるつるする」と苦戦しながら、夢中になって素手でヤマメを捕まえていました。

魚とりの後はそのままプールで水遊び。その間、中学生たちがヤマメに串を刺し、炭火で焼く準備をしてくれました。

思い切り遊んだ後は、みんなお待ちかねの食事です。自分たちで捕ったヤマメの塩焼きと、小学校PTAの保護者が愛情たっぷりに作ってくれた豚丼を、子どもたちは「おいしい」ともりもり食べていました。

かつて小学生として無邪気に楽しんだ子たちが、今は中学生となり、ボランティアとして運営を支えてくれています。自分たちが地域から受け取った楽しさや温かな思いを、こうして次の世代へとつないでいく。桜ヶ丘地区には、そんなすてきな笑顔と支え合いの循環がしっかりと根付いています。



▲魚を追いかける子どもたち



▲ヤマメを焼く準備をする中学生

問い合わせ先　地域づくり課協働推進担当　☎(584)1111㈹　F(584)1153